

宮脇 義亜



所属学会：日本内科学会（認定医）、日本リウマチ学会、日本臨床免疫学会、日本糖尿病学会、日本腎臓学会、日本透析医学会、日本臨床疫学会

専門分野：リウマチ・膠原病、腎臓・透析

履歴・職歴等：2009年、鳥取大学卒業。千葉徳洲会病院、広島市立市民病院での内科研修を経て2014年より岡山大学病院リウマチ膠原病内科の診療に従事。同大・佐田憲映先生の薫陶を受け学位取得（医学博士）。2018年より京都大学大学院社会健康医学系医療疫学分野修士課程に在籍して福原俊一先生に師事。2015年に始動した「全身性エリテマトーデスを対象とした多施設共同疾患レジストリ LUNA」に携わるとともに、レジストリデータを用いて疾患特異的 QOL 尺度で測定された患者報告型アウトカム（PRO）に関する研究を行っている。京都大学公衆衛生大学院 ティーチングアシスタント、医師を対象とした臨床研究勉強会（第8回 臨床研究のてらこ屋）ファシリテーターとして幅広く臨床研究教育に関わるとともに、現在、医療疫学の同期とシステムティックレビュー作業を遂行している。その他、平成28年～29年度科学研究費助成事業（学術研究助成基金助成金）若手研究（B）、平成29年 JCR 国際若手育成プログラム APLAR トラベルグラント、平成30年より厚生労働省「難治性血管炎に関する調査研究班」研究協力者、「難治性腎障害に関する研究調査」診療ガイドライン分科会 急速進行性腎炎症候群（RPGN）診療ガイドラインの改訂作業に従事している。